

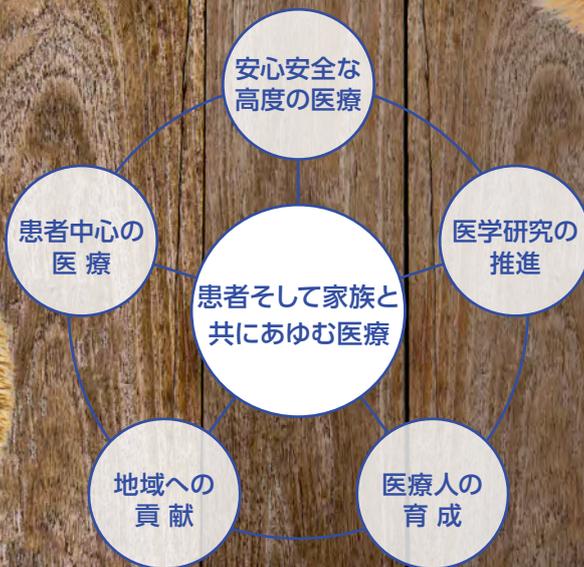


# 医療連携だより [アシスト]

# ASSIST

2021.2  
No.51

帝京大学医学部附属病院



## contents

教授就任のご挨拶  
教授就任のご挨拶  
教授就任のご挨拶  
医療連携室より

帝京大学医学部附属病院 産婦人科 教授 長阪 一憲  
帝京大学医学部附属病院 麻酔科 教授 (集中治療部) 張 京浩  
帝京大学医学部附属病院 麻酔科 教授 原 芳樹

教授就任のご挨拶

患者さん及びそのご家族が安心して「がんゲノム医療」を受けられるような体制を整備しています。

帝京大学医学部附属病院 産婦人科 教授 長阪 一憲

2020年12月1日より産婦人科学講座教授に就任いたしました長阪一憲（ながさか かずのり）と申します。私の本籍は兵庫県で、大学時代はラグビーに燃えていました。あと、留学中に勉強したイタリア語を少し話すことができます。専門分野は、婦人科腫瘍学です。私は、進行した婦人科癌に対する手術、抗癌剤治療、集学的治療、腹腔鏡や子宮鏡を用いた低侵襲手術、また遺伝性腫瘍・家族性腫瘍の診療を得意としています。

腹腔鏡下手術では、腹腔鏡下子宮体癌根治術を積極的に取り組んでいます。また来年度からはDavinciを用いたロボット支援下手術の導入を行う予定です。いずれも早期子宮体癌では癌の根治性を損なわず、術後負担を軽減することができます。その他、子宮内膜ポリープに対する子宮鏡下手術を日帰りで行っています。無麻酔のため手術適応は限られますが、お仕事などで入院ができない方には、おすすめの治療法です。遺伝性腫瘍に対する診療も強みです。医学の目覚ましい進歩により、癌は原因となる遺伝子の変化（遺伝子変異）を見

つけ出し、個別化医療を行う。自分の体質を知って、将来の癌の早期発見や予防に役立てる。このような新しい考え方の診療が広まっています。当院は2018年に「がんゲノム医療連携病院」の指定を頂いており、がんゲノム医療を提供できる体制を整備しています。「ゲノム診療外来」という専門外来では、がん遺伝子パネル検査や遺伝性腫瘍についての最新の情報提供を行い、遺伝カウンセリングを通して適切な医学的対応ができるようにしております。「ゲノム診療外来」は、他施設で治療中、治療後の患者さんや、そのご家族も受診することができます。また遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）の患者さんには、リスク低減手術（予防的乳房切除術、予防的卵管卵巣切除術）の有用性が示されています。当院が得意な多職種間のチームワークを最大限に活用し、遺伝性腫瘍に対する正しい情報提供、適切な医学的管理・予防手術が行えるよう、日々取り組んでおります。

これらの強みを生かしながら、地域の婦人科診療、遺伝性腫瘍診療に貢献でき

ラグビー観戦中の私



婦人科領域に関連する遺伝性腫瘍

| 疾患名  | 関連腫瘍  | 原因遺伝子                        |
|--|---|------------------------------|
| 遺伝性乳がん卵巣がん<br>HBOC: Hereditary Breast and Ovarian Cancer | 乳癌、卵巣癌、前立腺癌、膀胱癌   | BRCA1<br>BRCA2               |
| リンチ症候群<br>Lynch Syndrome                                 | 大腸癌、子宮体癌、卵巣癌、小腸癌、腎盂・尿管癌<br>胃癌、胆道・膵癌、脳腫瘍（膠芽腫）<br>皮膚腫瘍（皮脂腺腫 角化棘細胞腫） | MLH1<br>MSH2<br>PMS2<br>MSH6 |



腹腔鏡下手術

るよう、皆様としっかりと連携を取りながら進めてまいりたいと考えております。一生懸命頑張りますので、引き続きご指導のほど、宜しくお願い申し上げます。



帝京大学医学部附属病院 産婦人科 教授  
長阪 一憲 (ながさか かずのり)

2000年 愛媛大学医学部 医学科卒業  
東京大学医学部 産婦人科学教室  
東京警察病院 麻酔科  
社会福祉法人 三井記念病院 産婦人科  
小平記念 東京日立病院(東都文京病院)産婦人科  
2008年 東京大学大学院 博士課程医学系研究科  
生殖腫瘍学修了(医学博士)  
国際遺伝子工学バイオテクノロジーセンター  
国連機関 I.C.G.E.B. 腫瘍ウイルス学  
招聘研究員(イタリア)

労働者健康安全機構 関東労災病院 産婦人科  
がん研究会 がん研有明病院 婦人科(非常勤)  
東京警察病院 産婦人科  
2012年 東京大学医学部附属病院 女性外科 助教  
2017年 東京大学医学部 産婦人科学教室 医局長  
2017年 帝京大学医学部 産婦人科学講座 講師  
2020年 帝京大学医学部 産婦人科学講座 准教授  
2020年 帝京大学医学部 産婦人科学講座 教授

【専門分野】 婦人科腫瘍学  
内視鏡下手術  
遺伝性腫瘍・家族性腫瘍

## 教授就任のご挨拶

## 院内ICU(GICU)の担当ユニット

帝京大学医学部附属病院 麻酔科 教授 (集中治療部) 張 京浩

麻酔・集中治療科の張京浩(ちょうきょうひろ)と申します。私は2018

年の4月に、当科の澤村成史現主任教授のお誘いを受けてまして帝京大学病院に着任いたし、以来、麻酔科内で院内ICU(General Intensive Care Unit: GICU)の担当として、院内重症患者の集中治療に従事させていただいております。

当GICUは、夜間・休日も含めて麻酔科医が常在し、診療方針の決定や看護師への指示などは、各診療科との協議・合意に基づきながらもGICUに常在する麻酔科医の責任で行うという、semi-closed ICUシステムで運営されております。当院には、いわゆるクリティカルケアを行う集中治療部門としては、GICU以外に救急科のEICU、循環器系患者のCCU、新生児・小児を対象とするNICUがあります。GICUはそのような特化された集中治療部門が対象としないすべての院内重症患者を管理する役割を持ち、その意味でのGeneral(総合的)という名称が付与されており、院内の重症患者管理

において核となる存在であることが期待されています。

私は、医学部を卒業したのがちょうど平成元年であります。麻酔科を志した理由の一つに、患者さんの急変時にそれを遠巻きに見ている一群の一人になるのではなく、しっかりと一定の役割を果たせるような医師で有りたいという希望がありました。そのようなことで、重症患者の全身管理を担う部門で現在臨床を行っていることを大変ありがたいことと感じています。

当GICUを運営するにあたって最も心がけていることは、これまで、専門性の異なる他科の先生のご意見から多くを学んできましたので、自分たちの意見のみを独善的に取り入れるのではなく、受け持ち科はもちろんのこと、多様な専門家の意見を横断的に取り入れることで、総合的に質の高い患者管理を目指したいということとです。また、せっかく帝京大学にお世話いただいたので、是非、帝京ブランドというものを一層高めることに、皆様とともに微力ではありますが力を尽くしたいと考えております。さらに、従



GICU風景

来の大学病院ICUの役割を維持しながら、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにも対応するために、GICU内に陰圧個室を既存の1床に加えて新たに3床を増設しトータル4床をもって、院内の横断的チームとともに、重症化した新型コロナウイルス感染症患者の治療にもその最前線で日々臨んでおります。

以上のことで、引き続き皆様にはご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



帝京大学医学部附属病院 麻酔科 教授 (集中治療部)  
張 京浩 (ちょう きょうひろ)

1989年 東京大学医学部医学科卒業、同年東京大学医学部麻酔科学講座入局。東京大学医学部附属病院麻酔科、公立昭和病院麻酔科、東京大学医学部附属病院救急部にて、手術麻酔及び救急・集中治療に従事。米国マサチューセッツ総合病院 麻酔・集中治療科 シグナル伝達研究室にてNO(一酸化窒素)シグナルの研究に従事。1998年 東京大学大学院医学系研究科(外科学麻酔学分野専攻)修了(研究テーマ:新

しいG蛋白共役型受容体(P2Y6)のクローニングと機能解析) 医学博士。2006年 東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター 講師。2018年4月帝京大学麻酔科学講座 准教授。2020年12月より現職。

【資格】 日本麻酔科学会指導医、日本救急医学会専門医、日本集中治療医学会専門医

## 教授就任のご挨拶

知識・技術・医の心を持った麻酔科医を育成し、  
地域医療に貢献いたします。

帝京大学医学部附属病院 麻酔科 教授 原 芳樹

2020年12月1日より麻酔科学講座教授に就任いたしました原 芳樹（はら よしき）と申します。専門は手術麻酔で、病院では手術室にこもって仕事をすることが多く、皆様と直接お会いする機会が少ない職種です。この度、ご挨拶の機会をいただきましたので、手術麻酔について紹介させていただきます。

皆様が病氣と闘うご決心をなされ治療に手術を選択された時、その選択が最良となるよう努めるのが麻酔科医の仕事です。最も重要なことは、手術が安全に行われるよう最適な麻酔方法を考えて実践することです。麻酔は全身麻酔と局所麻酔に分けられますが、手術内容、患者さんの持病や体調、ご希望等を考慮し、麻酔方法を決めます。全身麻酔では痛みをとること、無意識とすることが必須であり、また正確な手術を行うために手術中患者さんを動かない状態にすることも重要です。全身麻酔中は患者さんが自力で呼吸をすることが難しいため人工呼吸を行います。さらに手術が体に負担をかけることで危険な状態になったり、出血が命を脅かすこともありますので、麻酔科

医は常に患者さんに寄り添い、呼吸や循環などの生体モニターを監視し命を守ります。局所麻酔は神経に薬を作用させ、痛みを一時的に感じない状態にする麻酔方法です。体の深いところにある神経の近くに針を進める必要があるため繊細な技術を要します。いずれの麻酔法も正しく行わないと重篤な合併症を引き起こす可能性があります。そのため他の診療科と異なり、厚生労働省が直接審査する麻酔科標榜医制度が存在します。

日本は医療先進国で毎日たくさんの病院でたくさんの方々の手術が行われています。その反面皮肉なことに手術総数を考えると、医療先進国でありながら麻酔科医の人数が足りている国ではありません。帝京大学医学部附属病院麻酔科は、当院での手術が安全に行われるよう麻酔科医の育成を積極的に行い手術数に見合った麻酔科医のチームを編成し、さらに帝京で鍛えられた知識・技術・医の心を持った麻酔科医を地域医療に貢献できるように送り出すことを目標とし実践しております。麻酔科は多くの手術に同時に対応するという診療の性質上、1人のスーパード



クターよりも、堅実な仕事をする10人の医師チームの方が社会に対し大きな貢献ができます。私も帝京大学で麻酔科医チームの一員としてさらなる研鑽を積むと同時に、臨床キャリアを一度も中断せずに蓄えてきた経験値を糧に、後進の育成に努める所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。



帝京大学医学部附属病院 麻酔科 教授  
原 芳樹 (はら よしき)

1988年 信州大学医学部医学科卒業  
1988年 東京女子医科大学麻酔科学講座入局  
2003年 帝京大学医学部麻酔科学講座 講師  
2005年 板橋中央総合病院麻酔科 医長  
2006年 春日部中央総合病院麻酔科 部長  
2013年 帝京大学医学部麻酔科学講座 准教授  
2020年12月より現職

**【資格】** 麻酔科標榜医  
日本専門医機構認定 麻酔科専門医  
日本麻酔科学会認定 指導医

**【所属学会】** 日本麻酔科学会  
日本臨床麻酔学会  
American Society of Anesthesiologists

## 医療連携室より

### 【第9・5回帝京大学医療連携セミナーを終えて】

2020年10月21日(水)にオンライン配信にて、第9・5回帝京大学医療連携セミナーを開催いたしました。

当院では今年度も地域の皆さまとの「顔の見える医療連携」をさらに発展させるべく「第10回帝京大学医療連携セミナー」開催に向け準備をして参りましたが、今般の新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、残念ながら今年度は中止にすることが最良との判断に至りました。

そこで、来年度は新型コロナウイルス感染症が落ち着き「第10回帝京大学医療連携セミナー」で皆さまにお会いできることをスタッフ一同心より祈願し、新型コロナウイルス感染症に負けるなという気持ちを込め、来年度につながる「第9・5回帝京大学医療連携セミナー」をWEBにて開催させていただきます。

当院といましては、今までとは違う初めての形式での開催であったため、「ご視聴いただけるのか」「滞りなく皆さまに配信できるのか」などの不安の中、企画を進めてまいりました。しかしながら、私たちの不安をよそに、院内外より580名を超える方にお申込みをいただき、当日も大変大勢の皆さまにご視聴いただきました。

ご視聴いただきました皆さまをはじめ、ご挨拶を賜りました東京都尾崎治夫医師会長、板橋区齋藤英治医師会長、東京都北区増田幹生医師会長、豊島区平井貴志医師会

長、練馬区伊藤大介医師会長の先生方、当会開催にご協力いただいた各関係部署の皆さまにこの場を借りて、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

#### 《今年度のセミナーについて》

前述したように今回はご視聴される皆さまには普段TVやYouTubeをご覧いただく感覚で気軽にご視聴いただけるよう「気軽な講演会」と銘打ち、乾杯グッズ(かんりとう、ミネラルウォーター等)をお申込みいただいた方へ郵送し、自由に飲食しながら楽しんでいただけるよう企画をさせていただきます。

今年度は肝胆脾外科の三澤健之教授から「肝胆脾外科 鏡視下手術の最前線」と「The LINKO spirits」という演題で講演、坂本哲也病院長から「帝京大学の新型コロナウイルス感染症への取り組み」という演題で話題提供をしていただきました。

そして医療連携室からも毎年恒例となっており「活動報告」を行います。これまでの医療連携セミナーを振り返りながら、帝京大学病院の歩みと医療連携室が取り組んできたことを動画でもご紹介させていただきます。少しでもご視聴いただいた皆さまに日頃の感謝の気持ちをお伝えでき、楽しんでご覧いただけたら幸いです。



#### 《おわりに》

当日急遽、所用などでご視聴いただけなかった皆さまもお申込みの際にお手数をお掛けしましたことを併せて御礼申し上げます。なお、不慣れなWEBでの運営にあたり、お申込み時点より不行き届きの点多々あったかと存じますが、何卒ご容赦いただけますようお願い申し上げます。是非、次回は皆さまの顔を拝見しながら開催できることを楽しみにしております。

今後「地域で支える医療」に貢献できるよう、地域医療機関施設の方々のご協力のもと、院内の職員間の連携を強化し、「地域の皆さまに安心していただける高度で質の高い医療を提供する」という目標にむかって邁進して参ります。なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



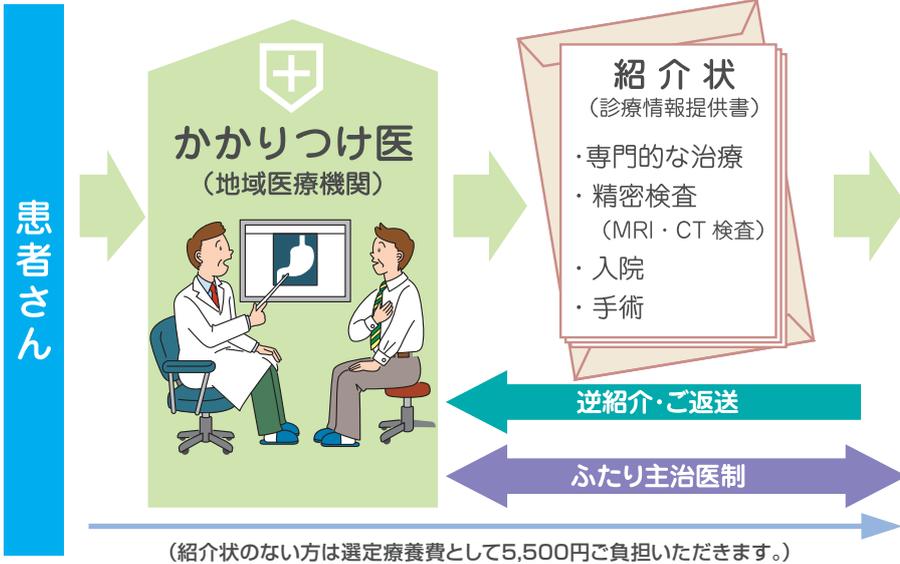
乾杯グッズ

# 帝京大学病院では紹介状があれば初診でも予約\*ができます。

※事前にお電話下さい

## 医療連携の流れ

帝京大学病院では、かかりつけ医との機能分担をすることにより、専門的な治療(手術、入院、精密検査など)をおこないます。



(紹介状のない方は選定療養費として5,500円で負担いただきます。)

**帝京大学医学部附属病院**  
**予約専用(医療連携室)**  
**03-3964-1498**

|        |     |            |
|--------|-----|------------|
| 予約受付時間 | 平日  | 8:30~17:00 |
|        | 土曜日 | 8:30~12:30 |

---

**初診受付**

|        |           |                           |
|--------|-----------|---------------------------|
| 診療受付時間 | 平日 (予約あり) | 8:30~14:30                |
|        | (予約なし)    | 8:30~11:30<br>13:00~14:30 |
|        | 土曜日       | 8:30~11:30                |

### 紹介状をお持ちの患者さん

- ① 予約電話(03-3964-1498)までお電話ください。  
電話予約の際にご確認させていただく項目  
(お名前、生年月日、性別、住所、電話番号など)
- ② 予約完了
- ③ 当日は15分前までに初診受付までお越しください。

### 紹介状をお持ちでない患者さん

- ◎ 初診受付  
 診療受付時間 平日 8:30~11:30/13:00~14:30  
 土曜日 8:30~11:30  
 直接初診受付へお越しください。  
 ※当日の診察状況によっては受診できない場合もございます。



上の地図は略図のため、実際の地形とは異なりますのでご注意ください。

- 1 JR埼京線 十条駅**  
 ④ 北口より徒歩約10分  
 ⑤ 北口ロータリータクシー乗り場より約6分
- 2 都営三田線 板橋本町駅**  
 ② A1出口より徒歩約13分  
 ③ A1出口より約6分
- 3 JR埼京線 板橋駅**  
 ⑥ 西口①番のりばより  
 帝京大学病院経由、王子駅行き 乗522 (約8分)  
 ⑦ 「帝京大学病院」バス停下車  
 西口より約9分
- 4 JR各線 赤羽駅**  
 ④ 東口⑤番のりばより  
 高円寺駅北口行き 乗31 (約11分)  
 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分  
 ⑥ 西口⑥番のりばより王子駅行き 乗50 (約14分)  
 「上十条四丁目」バス停下車徒歩約5分  
 ⑦ 西口より約12分
- 5 JR京浜東北線・東京メトロ南北線 王子駅**  
 ④ 北口⑥番のりばより  
 帝京大学病院経由、板橋駅行き 乗522 (約12分)  
 ⑦ 「帝京大学病院」バス停下車  
 北口より約9分
- 6 JR各線・東京メトロ各線 池袋駅**  
 ④ 西口より約16分
- 7 東武東上線 上板橋駅**  
 ④ 北口①番のりばより王子駅行き 乗54 (約13分)  
 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
- 8 東武東上線 ときわ台駅**  
 ④ 北口①番のりばより王子駅行き 乗54 (約9分)  
 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分  
 ⑦ 北口より約12分

※所要時間は日中平常時、最短時間の目安となっておりますので、時間帯や道路状況により異なります。

④ タクシーをご利用の場合 ⑤ バスをご利用の場合 ⑦ 徒歩の場合



特定機能病院  
 地域がん診療連携拠点病院 (高度型)  
 東京都災害拠点病院

## 帝京大学医学部附属病院

〒173-8606 東京都板橋区加賀2-11-1  
 TEL.03-3964-1211 (代表)  
 お問い合わせ E-mail:renkei@med.teikyo-u.ac.jp



帝京大学病院

検索

www.teikyo-hospital.jp

## 整形外科(人工関節・関節機能再建センター)に最新鋭の手術用ロボットを導入

—人工関節手術がより正確で低侵襲に—

大学病院  
では初!



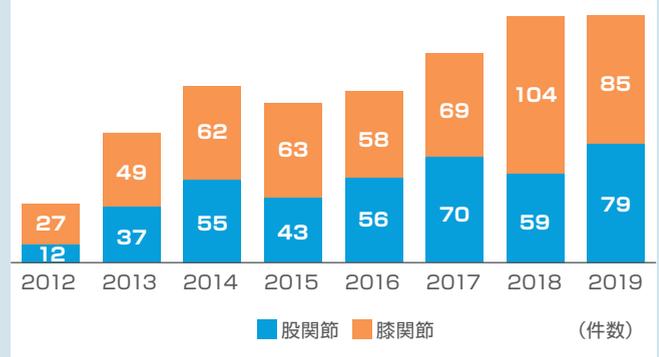
ロボティックアーム手術支援システム「MAKO」

人工関節・関節機能再建センターは人工関節手術にロボット手術を可能にする最新鋭の手術支援システムMAKO(メイコー)を導入します。MAKOシステムは米国をはじめとする欧米諸国では2017年度から一般に使用可能になり、急速に普及し現在では全世界で800台以上のロボットが稼働しています。本邦では2019年に保険適応となったばかりで、国内の医療施設でも導入している施設は数施設にとどまっております。このたび、帝京大学病院ではこの新しい手術機器MAKOを国内の大学附属病院として初めて導入します。

### 人工関節・関節機能再建センターのこれまでの取り組み

人工股関節全置換術や人工膝関節全置換術は、進行した変形性股関節症や変形性膝関節症の患者さんの傷んだ関節の表面を、金属のインプラントで置き換え下肢機能を改善する手術で、多くの患者さんで術後に疼痛が改善しています。手術前は近所に買い物へ行くことすら困難だった人が、手術後に旅行や軽いスポーツなどを楽しむことも可能になります。この人工関節手術では、患者さんに合わせて正確にインプラントを設置することが成績の向上につながると知られています。当科では2012年度にナビゲーションを手術室に導入し、人工股関節全置換術と人工膝関節全置換術に使用して手術を行って参りました。ナビゲーションを使用することにより良好な除痛効果と機能の改善が得られており、当科におけるナビゲーション手術件数も着実に増加してきています。(図1)

(図1) 当院における人工関節置換術



より正確に!  
より低侵襲に!

### ロボットで手術を行うメリットは何ですか?

例えば、自動車のナビゲーションは目的地までの道順を教えてくださいますが、車を運転するのは運転手であり万が一の事故を起こしてしまう危険性が伴います。一方、自動運転システムは車に人工知能やセンサーが装備されており、運転手は運転しなくても目的地まで自動的に安全に行くことが可能です。人工関節に対するロボット手術も同様で、ロボットにより術前計画通りに正確に骨を切ることが可能で、術前計画から外れた場所では自動的にロボットが停止する安全機能も備わっています。ロボット手術の術前にすべての患者さんにCT撮影検査を

行い、得られた画像情報から3次元骨モデルをコンピューターで作成し、患者さんそれぞれに最適のインプラントの位置を決定します。これらの特徴のおかげで、これまでに広く行われてきた手術に比べて正確な人工関節の設置や手術時間の短縮などのメリットがあります。さらに、骨切り時に関節包や靭帯などの軟部組織へのダメージがこれまでの手術よりも少なくなり、手術後の痛みが軽くなる、機能の回復が早くなる、合併症が少なくなる効果も期待できます。

## ロボットを用いた人工関節手術は誰が行うのですか？

MAKOシステムで手術を行うことができるのは認可を受けた医師のみで、当センターでは股関節専門の松田健太医師、日高亮医師、膝関節専門の中川匠医師、増田裕也医師、豊岡青海医師が認可を取得し手術を担当します。いずれも人工関節置換術の手術経験が豊富にあり、手術手技に精通している医師です。進行した変形性股関節症・変形性膝関節症で人工関節手術を検討されている患者さんは、是非これらの医師にご相談いただければと思います。なお、MAKOシステムを使用する人工関節手術は、すべて健康保険でカバーされており、患者さんの自己負担はこれまでと変わりありません。

## 理想的な環境下でのリハビリテーション

人工関節手術は手術だけで治療が完結するものではありません。手術が終わった後には、リハビリテーションをしっかりと行うことが非常に重要です。ロボット手術は低侵襲であることから、これまでよりも早期からの機能回復が期待されます。当院には緒方直史医師を筆頭に経験豊富なリハビリテーション科医師と理学療法士が多数在籍しており、ロボット手術に向けた新規のリハビリテーションプログラムを作成して、より早期の機能回復を目指したリハビリテーションを行って参ります。

**MAKOは  
保険適用！**

## MAKOシステム使用認可医師とリハビリテーションチームのご紹介

### 膝関節診

私たちに  
おまかせください。



中川匠医師



増田裕也医師



豊岡青海医師

膝関節診では変形性膝関節症に対する人工関節置換術だけでなく、スポーツ外傷に対する靭帯再建術など、膝関連疾患に幅広く対応しております。膝でお困りの患者さんがいましたら、ご紹介をお願いいたします。

### 股関節診

ぜひご紹介  
ください。



松田健太医師



日高亮医師

今回導入したMAKOを使用した人工関節手術により今まで以上に質の高い治療が可能になります！また股関節診では人工股関節手術以外にも若年者の大腿骨頭壊死や変形性股関節症に対する大腿骨や骨盤の骨切り術も数多く行っております。これからも地域の患者さんのより良い生活のために股関節チーム一丸となって頑張っていまいりますのでよろしくご願ひ致します！

オペはリハビリの  
始まりなんです。

### リハビリテーションチーム



緒方直史医師

MAKOの導入により、より質の高い手術が可能となることから、術後のリハビリテーションもそれに合ったプログラムを構築していく予定です。このシステムを用いて手術を受けた患者さんが、より早期に、より安全に正常な歩行を取り戻すべく、担当するリハビリテーション部門がしっかりとサポートし、安心してリハビリテーションが受けられるようしてまいります。

医療連携室

初診予約専用  
初診で紹介状をお持ちの方

TEL : 03-3964-1498

電話予約時間(平日) 8:30 ~ 17:00  
(土曜日) 8:30 ~ 12:30